

---

# ・連結中期経営計画重点施策

---

1. グループ競争力の強化

2. グループ総合力の発揮

3. グループ経営体制の整備

# 1. グループ競争力の強化

---

鉄道競争力の維持

生活関連事業の育成

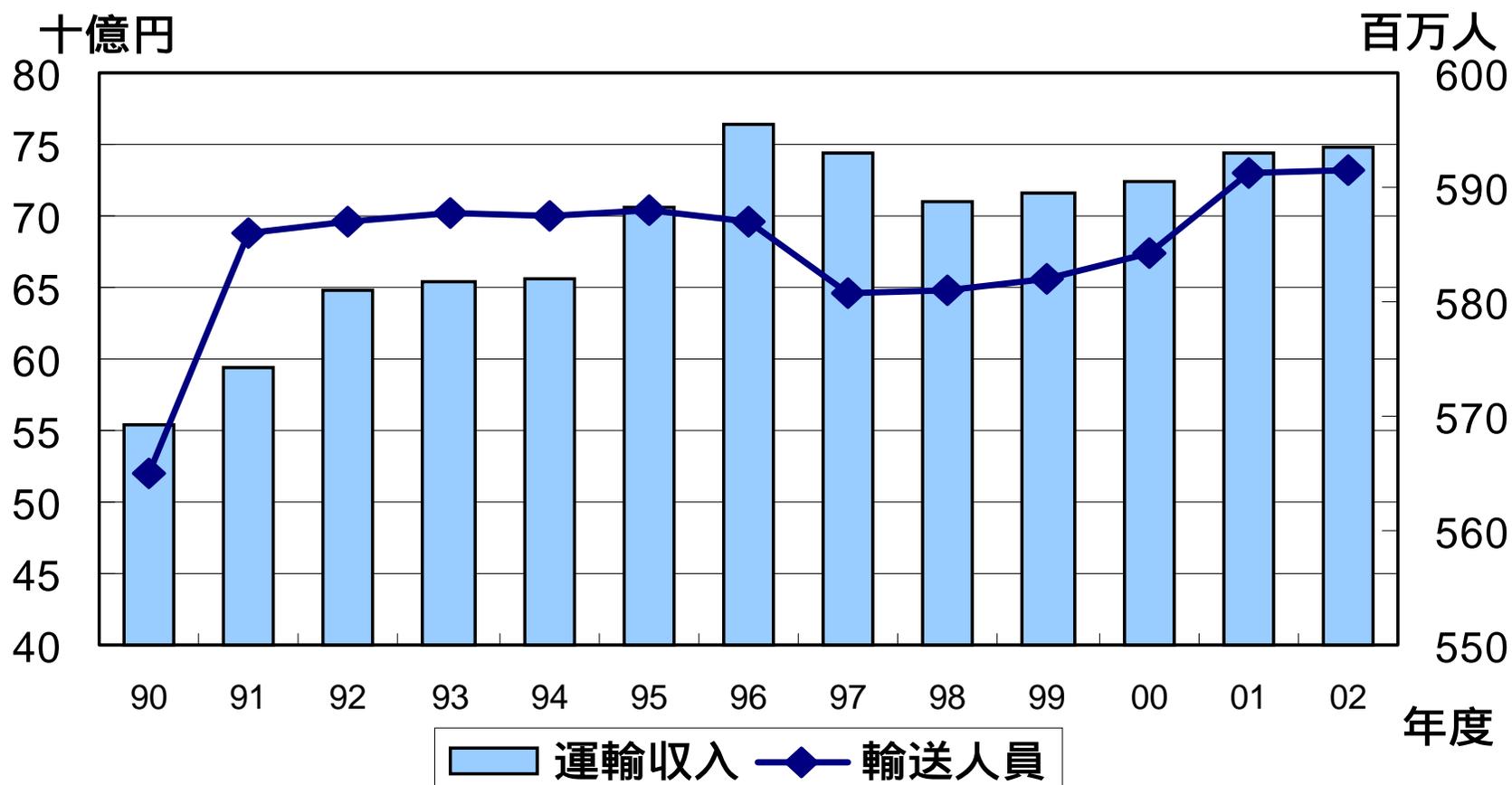
グループ事業別管理

優良賃貸資産の取得の検討

さらなる財務体質の強化

# 鉄道競争力の維持

< 鉄道輸送人員と旅客運輸収入の推移 > **5期連続の対前年増**



# 鉄道競争力の維持 < 続き >

## 保安度向上

ホーム安全対策

## サービス向上

バリアフリー化を標準仕様と捉える

## 大規模改良工事の推進

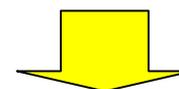
調布駅付近連続立体化

久我山、高幡不動駅改良

安全運行

安定運行

安心運行



「信頼のトップブランド」

## 鉄道競争力の維持 < 続き >

### < 新宿 ~ 八王子 >

会社名	運賃	所要時分
京王	350円	34分
JR東日本	460円	37分

### < 新宿 ~ 多摩センター >

会社名	運賃	所要時分
京王	330円	26分
小田急	380円	34分

### < 渋谷 ~ 吉祥寺 >

会社名	運賃	所要時分
京王	190円	16分
JR東日本	210円	19分

乗り換え時間を含まない日中最短時分

## 生活関連事業の育成

### 京王ストア（「キッチンコート」を含む）

本年5月 神楽坂に2号店オープン

近隣型SC等3ヵ年で4店舗を展開

カレーショップ“C&C”  
ベーカリーショップ“ルパ”  
啓文堂書店



キッチンコート(神楽坂店)

## 生活関連事業の育成 < 続き >

### < 京王プレッソイン >

1号店(東銀座)の客室稼働率が好調

開業以来の稼働率が90%を超える

### チェーン展開の状況

#### ・都区内への進出加速

2002年2月

東銀座オープン

2003年6月

2号店神田オープン

2004年春(予定)

3号店池袋東口オープン

2005年度末までに10店舗



プレッソイン神田

# グループ事業別管理

< 変更後 >

## 不動産業



新宿追分ビル

## 流通業



京王百貨店ビル

資産効率  
の重視

## レジャー・サービス業



京王プラザホテル

# グループ事業別管理 < 続き >

## 賃貸資産の使用セグメントへの分類

[不動産業]		[レジャー・サービス業]	
受取賃料(グループ内)	100	売上(外部)	110
諸経費(外部)	70	<del>支払賃料(グループ内)</del>	<del>100</del>
営業利益	30	営業利益	10
資産	1,000	資産	250
ROA	3.0%	ROA	4.0%

(2002年度から変更)

セグメント情報の適正化

**資産効率の重視**

[レジャー・サービス業]	
売上(外部)	110
諸経費(外部)	70
営業利益	40
資産	1,250
ROA	3.2%

# 優良賃貸資産の取得の検討

---

『京王品川ビル』

(2004年2月 竣工予定)

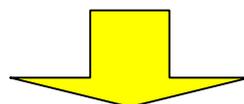


京王品川ビル  
完成予想図

# さらなる財務体質の強化

## EBITDA倍率の向上

	2002年度 (実績)	2005年度 (目標)
有利子負債 / EBITDA	3.5倍	3.2倍
有利子負債	2,198億円	2,200億円
償却前営業利益 (EBITDA)	633億円	680億円



今後3カ年で1,460億円の投資を行いながら EBITDA倍率を向上

## 2. グループ総合力の発揮

グループカード戦略の展開

鉄道を持つ強みを活かした事業展開の検討

沿線ブロードバンド環境の整備とIT活用による事業領域の拡大

# グループカード戦略の展開

- ・グループ全体の顧客拡大
- ・グループシナジーの発揮
- ・グループ顧客情報の活用
- ・ICカードへの対応

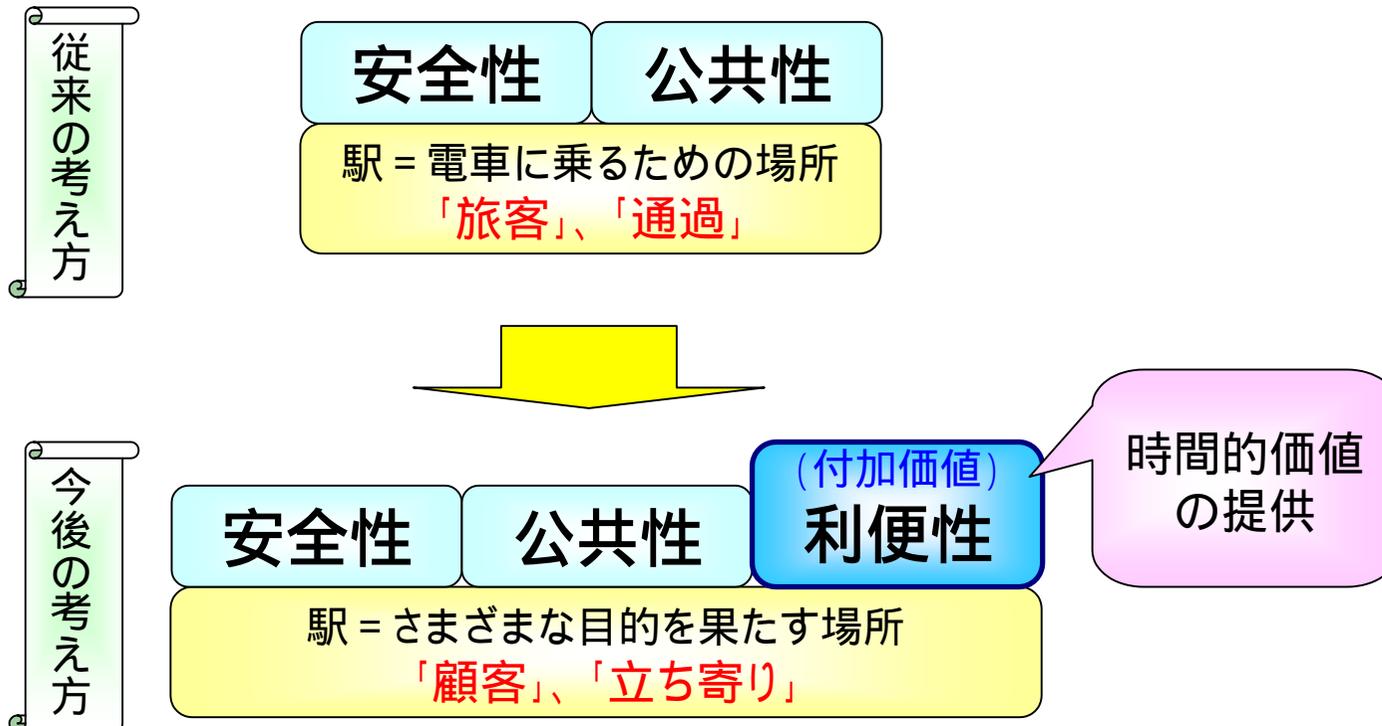
会員 1 0 0 万人体制を目指します！



# 鉄道を持つ強みを活かした事業展開の検討

## 駅の将来構想の策定

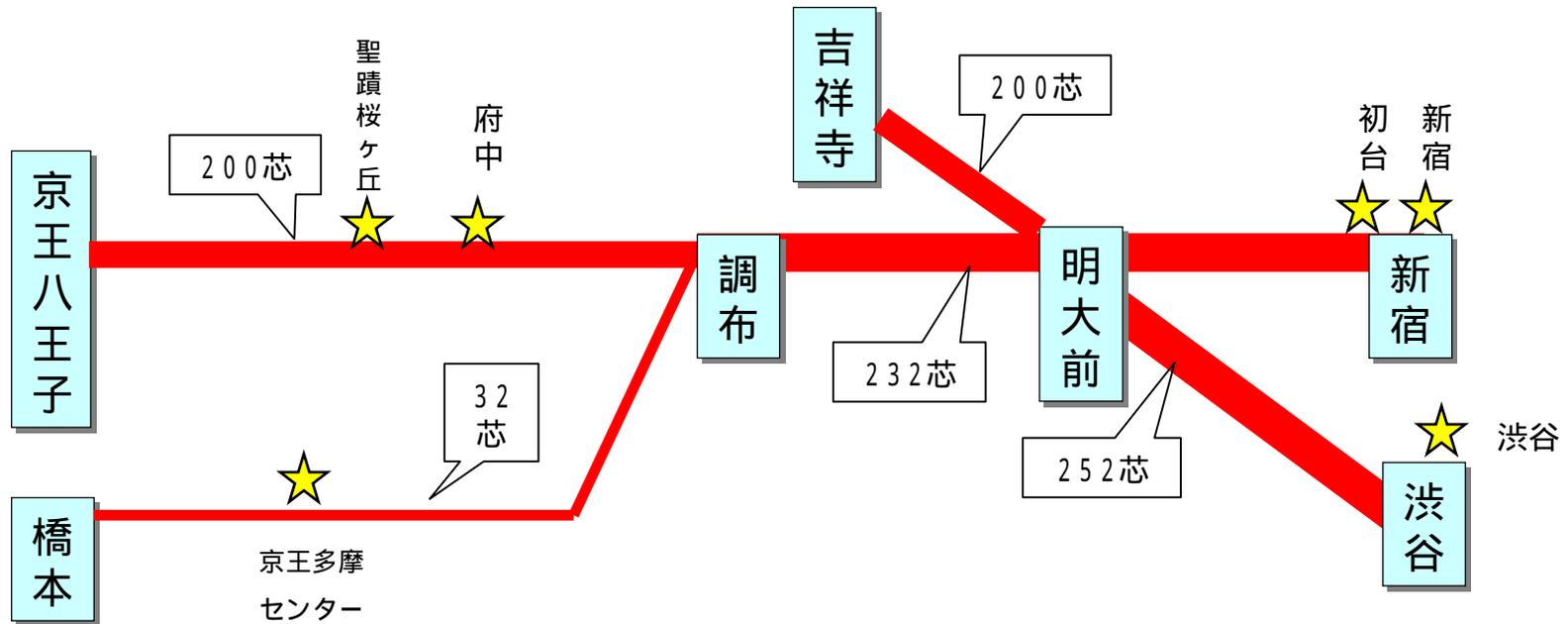
- ・現状の駅の延長線上ではなく、ゼロベースで駅ビジネスを創出する
- ・キーワードは「時間価値の提供(タイムリーかつクイックなサービス)」



# 沿線ブロードバンド環境の整備とIT活用による事業領域の拡大

## 光ケーブルの敷設

沿線内での光ファイバーケーブルの敷設、増強  
 駅の「情報コンセント」の設置



2002年度末敷設状況

★ は情報コンセント設置駅

## 3. グループ経営体制の整備

---

グループ本社機能の確立

グループITの構築

グループにおけるSSCの推進

# グループ本社機能の確立

## 各組織機能のミッションの明確化

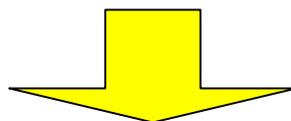
	グループ本社機能	事業機能	SSC
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ本社 (電鉄本社)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道事業、開発事業</li> <li>・百貨店、ストア</li> <li>・観光、京王プラザ</li> <li>・電鉄バス など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京王アカウンティング</li> <li>・京王ビジネスサポート</li> <li>・京王情報システム</li> </ul>
ミッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ価値の最大化</li> <li>・グループ会社監査</li> <li>・グループ会社支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客価値の最大化を通じた事業価値の最大化</li> <li>・上記を目的とした商品、サービス開発、マーケティング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ共通機能の強化、効率化</li> </ul>

## グループ本社機能の確立 < 続き >

---

### セグメント別支援体制の強化

流通戦略プロジェクトチームの編成



商圏調査、物件選定等の重点取り組み体制を整備

# グループITの構築

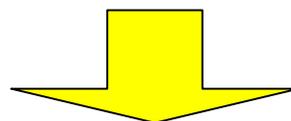
グループ通信網の整備・運用  
 全社統合システム導入の検討



## グループにおけるSSCの推進

会社名	設立	内容	受託会社数
京王アカウントینگ	2000年6月	経理・財務	15社
京王ビジネスサポート	2001年6月	人事・厚生	7社
京王情報システム	2002年6月	情報システム	31社

(受託会社数は2002年度末現在)



**グループ全社受託を目指す**